

大矢根教授と大学院生・横山さん 川崎市中野島町会メンバーとともに

徹底した「まち歩き」で 防災マップづくり



▲ 2009年10月18日の「まち歩き」調査

震災や水害から地元を自分たちの手で守ろう。災害社会学が専門の専修大学の大学院生大矢根淳人(27)と横山順一さん(29)は、川崎市多摩区中野島町会(中野島1丁目・布田地区、6500世帯)のメンバーとともに地元の「中野島町会防災マップII」を完成させた。

このプロジェクトは、平成20年度多摩区3大学(専修大学、明治大学、日本女子大学)連携事業の一環で、「多摩区中野島地区における災害・防災に関する事業」として2年前から始まった。

中野島町会が、災害に詳しい大矢根教授に依頼。昨年5月に1冊目の「防災マップと報告書」を作成。2冊目となる今回は、2年間の蓄積されたノウハウを駆使し、町会内の中野島1丁目付近を対象に「まち歩き調査」「危険地域」と「資源」なるものの把握を行っ

た。「中野島町会防災マップII」には、「中野島敷地内、廊下・階段、掲載と、その作成過程が室内を調査。

また、町会防災の懸案であった大規模高層マンション群(中野島ハイム700戸、JR中野島駅北口)の地域防災についても行った。マンション

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した

今回のマップ作りは、一連の活動で手法を体得した横山さんが中心になって行われた。

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した



▲ 門ノ沢多摩区長に報告書を手渡す大矢根教授(右から3人目)と横山さん(同2人目)



「危険地域」と「資源」なるものが載った「中野島再発見マップ」

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した

わが身、わが命は自分で守る

災害救援ボランティア講座 33人のセーフティリーダー誕生



▲ 本所防災館での消火体験



▲ 上級救命技能講習(明治大学で)

「災害救援ボランティア講座」(前期)が5月15、19、30日に神田キャンパス、本所防災館、明治大学を会場に開催され、全日程を受講した学生ら33人に災害救援ボランティア推進委員会から「セーフティリーダー認定証」、東京消防庁から「上級救命技能認定証」が交付された。

1995年の阪神・淡路大震災の教訓をもとに大災害を想定した災害救援ボランティアリーダー養成のため設立された「大規模災害への備えの必要性を感じて」「ボランティアに興味がある」といった参加動機が多くの学生が多く、3日間の講習に積極的に取り組んでいた。

認定証を手にした学生たちからは、「リーダーシップを発揮することは、災害時に限らず大切なこと。日ごろから意識して、冷静に物事に対処したい」「大学生活をただ漫然と過ごすのではなく、目標をもって過ごすためのきっかけとなった。『今の自分』と『理想の自分』との間に『今』を埋めたい」という思いを話した。

5月28日、中野島町会の古谷治会長、田村忠蔵さん、瀬下勇さん(いずれも副会長で防災委員)らと一緒に多摩区の門ノ沢俊明区長を訪問。報告書とともに同マップを提出、取り組みの内容を報告した。

プロジェクトはこれで終了したが、地元から継続の要望が強い。大矢根教授は「楽しく学びながら暮らしていくことを念頭に置くことが大切。末長くコンタクトを取っていき、ついかん

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した



▲ 人気のオリジナルかるた



▲ 奥野伸夫会長＝店内2階の展示スペースで

ゲーム機とは違う「文化」

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した

「お地藏様」と「二ヶ領用水と水門」に最も関心を持った。石碑は地域の歴史をいまに語り継ぐ存在になっている。また豊

「10月18日に実施したまち歩きで発見し」「中野島再発見」に掲載した

専大とともに
神田神保町探索
12